



News release

2025年10月30日
PwC Japan グループ

PwC Japan、AI エージェントのラピッドプロトタイピングを 専業で担う開発組織「AI Factory」を発足 産業構造の変化を捉え、クライアントの迅速な変革を支援

PwC Japan グループ(グループ代表:久保田 正崇)は本日、AI を活用してクライアントが直面する産業変革への対応を支援することを目的として、AI エージェントのラピッドプロトタイピング^{※1}を主軸とする開発組織「AI Factory」を10月1日に発足させたことを発表しました。これにより、クライアントが目指すべき新たなビジネスの在り方に関する提案力を強化します。また、AI Factory は、PwC Japan グループの既存のプロフェッショナルサービスを迅速に AI エージェント化していく役割も担い、クライアントへの提供価値向上を目指します。

※1: サービスの試作品を短時間で作ること

ビジネスを取り巻く環境の急速かつ大きな変化により、企業は産業の枠を越えた課題解決の必要性に迫られています。また、AI 技術の進展を受け、日本企業における生成 AI や AI エージェントの導入が加速しており^{※2}、AI を起点とした企業の在り方の変化は不可逆となっています。今後 AI 関連技術の社会実装がさらに進むことで、産業構造や経済活動の仕組みまで大きく変化することが予想されます。

※2: 生成 AI に関する実態調査 2025春 5カ国比較

<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/thoughtleadership/generative-ai-survey2025.html>

PwC Japan グループは、その解決にはマクロ経済動向などを踏まえて産業全体を俯瞰的に捉える高い視点と、産業の未来までを見通す事業や先進技術の深い専門性が必要と考え、新しい時代の産業や社会の在り方をデザインするコンセプト「産業アーキテクチャ」を戦略の柱に据えてクライアントを支援しています。この方針のもと、これまでにも Technology Laboratory^{※3}や PwC Intelligence^{※4}、スマートモビリティ総合研究所^{※5}などを創設してきました。その上で、変化する未来像を捉えアイデアをいち早く具体的な取り組みにつなげるためには、ラピッドプロトタイピングが重要と認識し、AI エージェントの試作(プロトタイプ)・開発・運用を行う専業組織として AI Factory を発足させました。これにより、産業アーキテクチャおよび最新の技術動向に基づいた、迅速かつアジャイルな AI エージェントの開発や提案がグループ全体で可能になります。

※3: テクノロジーを活用した社会課題解決推進に向け産官学の連携を支援する拠点

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/technology-consulting/technology-laboratory.html>

※4: ビジネス環境の短期的・中長期的な変化を捉え、クライアント企業が未来を見通すための羅針盤となるシンクタンク部門

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

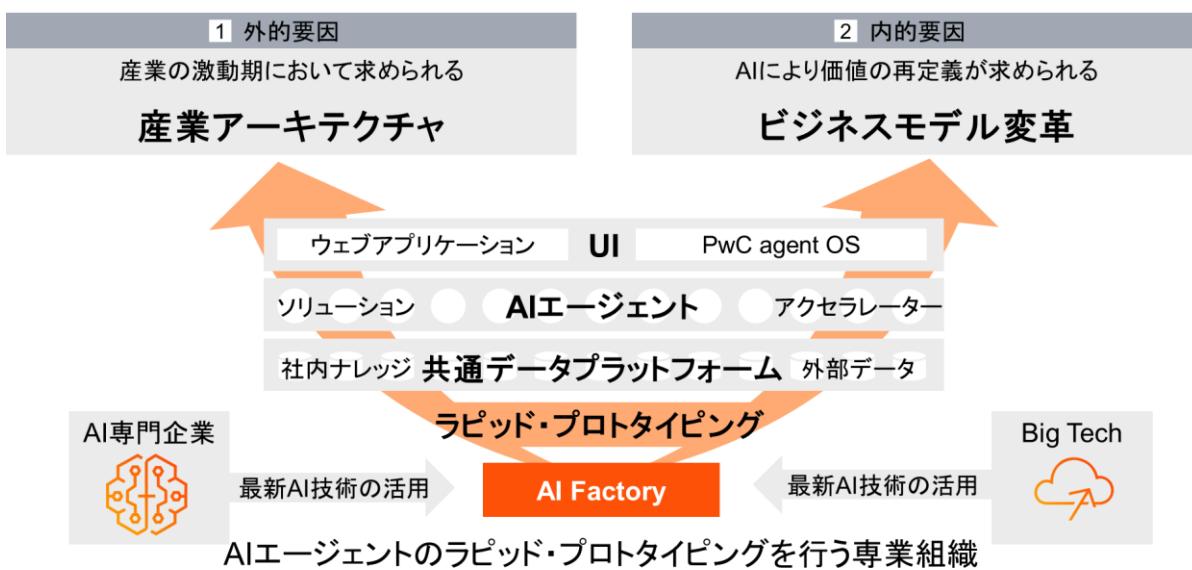
※5:モビリティ社会システムに関わるステークホルダーの、企業内連携・企業間連携・産業間連携を加速させることを目的として設立した組織

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/smart-mobility-innovation-hub.html>

AI Factory の概要

AI Factory は、AI 技術の専門家を軸に PwC Japan グループの各部門と連携し、アライアンス企業の最前端技術を取り入れ、クライアントの課題や PwC Japan グループが考える産業の未来像を基に AI エージェントをラピッドプロトタイピングして産業や業務の未来像を具現化し、高速な実装につなげます。

名称: AI Factory(エーアイファクトリー)
 発足日: 2025 年 10 月 1 日
 所属法人: PwC Japan 合同会社(日本における PwC メンバーフーム向けのコーポレート業務を担当)
 部門長: PwC Japan グループ
 チーフ・ストラテジー・オフィサー兼チーフ・イノベーション・オフィサー 桂 嘉司
 副部門長: PwC Japan グループ チーフ・AI・オフィサー 藤川 琢哉
 PwC Japan グループ チーフ・データ・オフィサー 近藤 仁
 体制: 専任メンバー約 10 名に加え、PwC Japan グループの幅広い部門の AI や先端技術に精通した人材を中心に約 60 名が参画。順次体制を拡充予定



図表 1:AI Factory の役割

AI Factory では、以下の取り組みも推進します。

アライアンス企業の最新技術活用: PwC Japan グループは、大手テクノロジー企業や AI 専門企業と連携しています。技術進化の速い AI 領域においても、これらの連携を通じて常に最先端技術を取り入れ、PwC Japan グループが有する業界知見やさまざまな領域の専門性を結集させ、いち早くビジネスユースケースに落とし込み試作します。



PwC グローバルネットワークとの連携: Network AI Factory^{※6}に参加する世界各国・地域の AI 開発拠点と連携し、他拠点が開発した AI エージェントの日本国内での展開を進めます。一方で、PwC Japan グループで開発した AI エージェントの他拠点展開にも取り組みます。

※6: PwC グローバルネットワーク全体での AI 活用推進や開発能力向上に取り組む組織。グローバルで 50 拠点

AI 自律運営ビジネスの実証実験: AI エージェントが自律的に運営するビジネスの実現に向けて、PwC Japan グループ内で開発・実証実験していきます。実証実験を通じて技術限界、ビジネス制度制約、倫理問題などを特定し、研究成果を情報発信していきます。

共通データプラットフォームの整備・運用: AI 開発・活用において必要となる社内ナレッジや外部データを収集し、PwC Japan グループ全体で活用可能な共通データプラットフォームを通じて提供していきます。これらのデータを安全に使えるよう適切に管理するとともに、AI 時代に求められる新たなデータモデルも設計します。同データモデルは産業アーキテクチャの重要な要素であり、PwC Japan グループの産業の専門家とともに取り組みます。

PwC Japan グループのサービス・業務の AI エージェント化: PwC Japan グループのプロフェッショナルサービスの AI エージェント化による高付加価値化とともに、クライアント提案・サービス提供をサポートしてスタッフのケイパビリティを拡張する AI エージェントを開発・展開・運用していきます。

PwC Japan グループは今後も、最新 AI 技術を迅速に社会実装していく橋渡し役として、技術による社会課題の解決に貢献していきます。

以上

PwC について

www.pwc.com

PwC は、クライアントが複雑性を競争優位性へと転換できるよう、信頼の構築と変革を支援します。私たちは、テクノロジーを駆使し、人材を重視したネットワークとして、世界 136 カ国に 364,000 人以上のスタッフを擁しています。監査・保証、税務・法務、アドバイザリーサービスなど、多岐にわたる分野で、クライアントが変革の推進力を生み出し、加速し、維持できるよう支援します。

PwC Japan グループについて

www.pwc.com/jp

PwC Japan グループは、日本における PwC グローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社の総称です。各法人は独立した別法人として事業を行っています。複雑化・多様化する企業の経営課題に対し、PwC Japan グループでは、監査およびブローダーアシュアランスサービス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、そして法務における卓越した専門性を結集し、それらを有機的に協働させる体制を整えています。また、公認会計士、税理士、弁護士、その他専門スタッフ約 13,500 人を擁するプロフェッショナル・サービス・ネットワークとして、クライアントニーズにより的確に対応したサービスの提供に努めています。

© 2025 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.